

# 第58期 事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

証券コード：2922



 株式会社なとり



## トップメッセージ



株主の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より「なとりグループ」に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループを取り巻く「おつまみ業界」特に「乾き珍味」の業界は、ここ数年、その市場規模が横ばいから縮小の傾向にあります。加えて、第58期は、主力商品の原料であります、イカ、チーズ、豚肉などの原料価格高騰や原油高にともなう資材価格の高騰等の影響を受け、また、小売段階での価格競争の激化などもあり厳しい経営環境にありました。このような状況に対応すべく、新商品の開発、生産・仕入並びに販売体制の強化、さらにコスト削減等に努力いたしましたが、増収減益の決算となりました。

中期経営計画の2期目にあたり第59期は、第58期の反省をもとに、「新たなおつまみ市場の創造」を実現すべく、これまでの珍味売場を主要なマーケットとした「水産」「畜肉」「酪農」「農産」「惣菜」という5つのジャンルでの事業展開から、珍味外売場の積極的な開拓を目指し、2つのカテゴリーと9つのジャンルに製品群を再編成のうえ、きめ細かな対策を取り、更なる成長を目指してまいります。

まじめに良い商品作りに取り組み、お客様に「安心・安全」で、よりおいしい商品をお届けする、という当社の伝統や精神を常に意識しながら、「おつまみの真のNo.1企業を目指す」ために、今後も様々な改革に積極的にチャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成18年6月吉日

代表取締役社長  
名 取 三 郎

## 経営理念

株式会社なとりとそのグループは、自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持つる会社を目指します。

## ミッション

常に満足していただけるおつまみを提供することで、お客様の笑顔がある、楽しくて豊かな食シーンを創造します。

## ビジョン

チャレンジ to 60を通して、「おつまみ」の真のNo.1企業を目指します。

## Contents

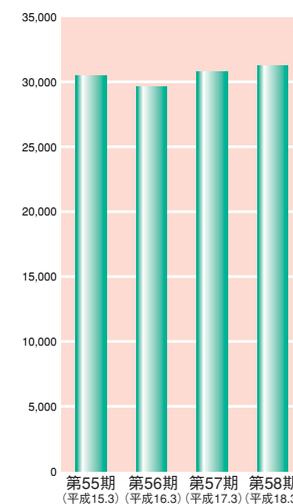
トップメッセージ	1
財務ハイライト	2
株主の皆様へ	3
クローズアップ	5
製品ラインアップ	7
財務の状況	9
株式の状況	12
会社の概要・企業集団の状況	13
生産・営業・物流拠点	14

## 財務ハイライト

連 結	第55期	第56期	第57期	第58期
	(平成15年3月期)	(平成16年3月期)	(平成17年3月期)	(平成18年3月期)
売 上 高 (百万円)	30,530	29,733	30,805	31,215
経 常 利 益 (百万円)	1,606	1,013	1,084	963
当 期 純 利 益 (百万円)	763	551	669	541
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	55.62	40.18	48.62	38.23
総 資 産 (百万円)	25,118	24,991	23,888	24,294
株 主 資 本 (百万円)	10,977	11,505	12,274	13,027
株 主 資 本 比 率 (%)	43.7	46.0	51.4	53.6
1 株 当 たり 株 主 資 本 (円)	810.12	847.78	881.30	916.49

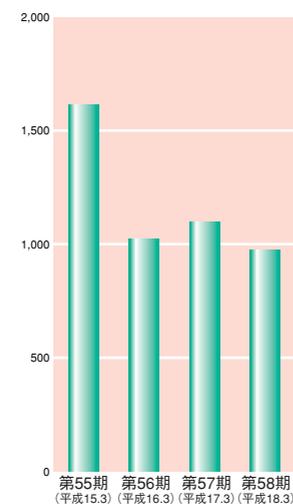
### 売上高

(単位:百万円)



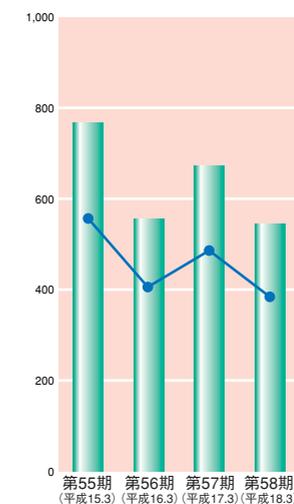
### 経常利益

(単位:百万円)



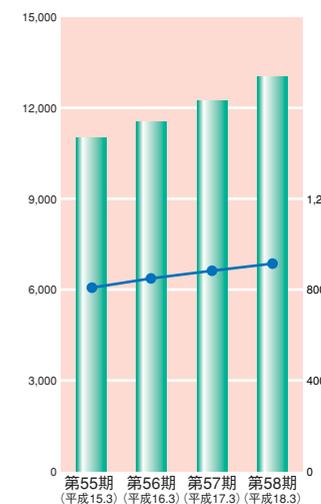
### 当期純利益

(単位:百万円)  
1株当たり当期純利益 (単位:円)



### 株主資本

(単位:百万円)  
1株当たり株主資本 (単位:円)



**Q** 第58期はどのような1年でしたか。

**A** 当期におけるわが国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の増加を背景として回復傾向にあるものの、一方で原油価格の高騰等といった懸念材料は払拭されず、個人消費の本格的な持ち直しについては依然不透明なまま推移いたしました。加工食品業界・小売業界におきましては、企業間競争の更なる激化や原材料価格の高止まり等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループの経営成績は、売上高312億15百万円(前期比1.3%増)で前期比増収となりました。製品群別では、水産加工品180億52百万円(前期比0.8%減)、畜肉加工品47億14百万円(前期比3.8%増)、酪農加工品31億74百万円(前期比20.5%増)、農産加工品27億44百万円(前期比5.3%減)、惣菜製品ほか25億29百万円(前期比0.5%減)でありました。水産加工品では、ソフトいか燻製、茎わかめ等が堅調に推移したものの、「いか」の一次加工品の売上減に伴い減収となりました。畜肉加工品はジャーキー類が引き続き好調で増収となりました。酪農加工品は、チーズ鱈の新商品が大きく寄与し増収、農産加工品では、新商品投入効果により梅製品の売上が堅調に推移したものの、素材菓子や売上一巡した栗製品が伸び悩み減収となりました。惣菜製品ほかでは、洋風惣菜を扱う子会社株式会社なとりデリカが増収となりましたが、そのほかの製品が伸び悩み微減となりました。

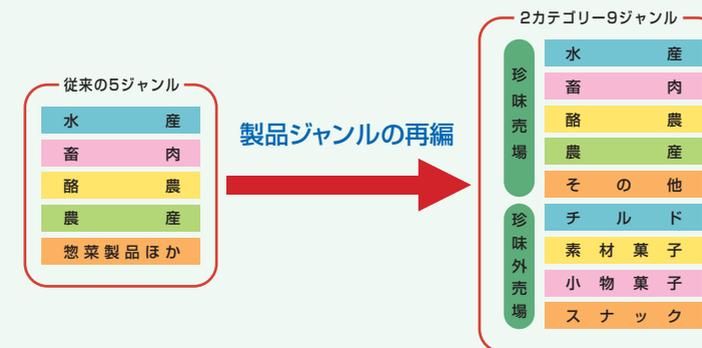
損益面につきましては、原材料高等が大きく影響し、売上総利益は99億77百万円で前期比1.5%減益となりました。販売費及び一般管理費は、ローコストオペレーションによる削減に注力いたしましたが90億68百万円(前期比0.01%減)となり、結果、営業利益は9億8百万円(前期比14.5%減)、経常利益は9億63百万円(前期比11.2%減)、当期純利益は5億41百万円(前期比19.1%減)となりました。

**Q** 今後の見通しについて教えてください。

**A** 当社グループは中期経営計画「チャレンジ to 60」の2期目を迎え、本部ごとの目標を明確にしたコミットメントをもとに、マニフェスト(公約)する体制を引き続き実施し、顧客志向に基づく事業基盤の確立と収益力向上へ向けて、以下の諸施策を具体化してまいります。

第59期の大きな課題として、食品総合ラボラトリーを中核にグループ総力を挙げて顧客志向及びマーケットインに基づいた新商品開発に取り組んでまいります。特に、新しいマーケットの創造と開拓を目指すため、商品開発及び販売戦略において、①珍味売場向け5製品群(水産・畜肉・酪農・農産・その他)と、②珍味売場以外の4製品群(チルド・素材菓子・小物菓子・スナック)の「2カテゴリー9ジャンル」にきめ細かく分類し、各ジャンルにおいて商品開発に注力してまいります。また「チルドおつまみ」については、第58期において蓄積された課題に十分な検討を加え、「乾き珍味」に次ぐ当社の柱に育てるべく引き続き全社を挙げて取り組んでまいります。このほか「素材菓子」「小物菓子」「スナック」といったジャンルにおいても積極的な商品戦略を展開いたします。

第59期の業績見通しは、売上高320億円(前期比2.5%増)、営業利益10億50百万円(前期比15.5%増)、経常利益11億50百万円(前期比19.4%増)、当期純利益6億30百万円(前期比16.3%増)を見込んでおります。



中期経営計画「チャレンジto60」

1. 既存事業への経営資源の集中

- 顧客志向、マーケットインに基づく新商品の開発のために
- 既存アイテムの整理
- 原価管理体制の強化
- 生産体制の再編 等

生産性向上を図る



お客様のニーズに合った価値ある商品の開発

2. 新たな「おつまみ市場」の創造

- チルド製品** ● 18年3月期に得た貴重な経験を生かす
- 「チーズ鱈」を常温とチルドの両面から、強力なプロダクトブランドへ
- 素材菓子** ● 野菜やドライフルーツなど新たな素材を原料としたより加工度の高いおつまみの開発
- 健康志向も視野に入れ、新しい食感や味の新品を開発

- 小物菓子** ● 「駄菓子」といわれる特殊なマーケット、流通分野で参入障壁があるが、消費者のニーズにマッチした商品の投入

- スナック** ● おつまみメーカーだからこそ開発できるスナックの投入
- 当社の得意分野である水産系スナックの開発に注力し、他社には真似のできないおつまみの開発

3. グローバル展開の推進

- 中国戦略による生産コストの削減
- 「荳わかめ」中国へ生産を移管
  - 「いか」中国でのさらなる加工度引き上げを実施
- 中国リスクや商品戦略等を総合的に勘案し、国内にも一定の生産機能を確保



4. CSR経営と人材育成

- CSR経営**
- コンプライアンスを重視した事業活動
  - コーポレート・ガバナンスのより良い体制づくり
  - 品質管理の徹底強化 (X線装置・金属探知機への設備投資)
  - 食品関連法令の遵守 (「なとり品質保証憲章」の浸透)
- 人材育成**
- 教育制度、人材配置、自己目標制度の確立と定着化

新商品&注目商品のご紹介

新商品

ピザラチーズ鱈イタリアンバジル味

宅配ピザ業界No.1のピザラで人気の「イタリアンバジル」味をチーズ鱈に絶妙に組み合わせたコラボレート商品『ピザラチーズ鱈イタリアンバジル味』。チェダー・サムソー・マリボーの3種類をブレンドしたチーズにバジルの風味を混ぜ込み、さらにトマトベースの味わいをプラスすることで、より本物に近いピザの風味を再現しました。

(平成18年6月新発売)



濃厚チーズ鱈

品質管理には定評があり、厳しい安全衛生基準をパスした良質なチーズだけを世界中に輸出しているデンマーク。そのデンマーク産のカマンベールチーズとサムソーチーズをブレンドし、鱈シートでサンドしました。チーズの厚みも増やし、一口サイズにして、チーズの「濃厚さ」をより味わえるように仕上げました。

(平成17年11月新発売)



贅沢粗挽きサラミ

原料肉に世界最大の豚肉輸出国で、その品質が高く評価されているデンマーク産ポークのみを使用。食べ応えのある粗挽きタイプのロングソーセージです。様々なスパイスをブレンドし、肉の味わいを引き立てました。保存料は使用していません。

(平成18年4月新発売)



いかの西京焼

京都名物の西京味噌を使用した調味液に肉厚ないかを漬け込み、鉄板で焼き上げ、食べやすいように引き裂きました。鮮やかな焼き色が食欲をそそり、口に入れた瞬間に西京味噌独特の上品な甘さと風味が口いっぱいに広がります。日本酒や焼酎などの和のお酒との相性が抜群です。

(平成18年3月新発売)



注目商品 pick-up!!

チルドタイプの『チーズ鱈』

昭和57年の発売開始以来、四半世紀近く、おつまみの代名詞ともなっており、人気を誇っている当社のロングセラー商品『チーズ鱈』を、よりソフトに、よりクリーミーに仕上げるために、遂にチルド製品として世に送り出しました。なめらかな口どけのクリームチーズを贅沢に使用。しっとりやわらかな特製鱈シートでサンドし、チルドならではのソフトでクリーミーな味わいを実現しました。一度食べたらやみつきになるおいしさです。通常の『プレーン』タイプと、薫り高いバジルとガーリックをチーズに練りこんだ『バジル&ガーリック味』の2タイプがあります。



# 製品ラインアップ

## 惣菜製品ほか



おつまみカルレット (株)なとりデリカ 洋風惣菜 (株)好尚飲茶 金萬福の中華名菜 飲茶セット

## 農産加工品



ピスタチオ えび味つが餅&ピー つが餅ピーナッツ ミックスナッツ

## 酪農加工品



チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈 濃厚チーズ鱈 カマンベールチーズ鱈 極辛チーズ鱈 スモークチーズ

## 惣菜製品ほか

2,529百万円 8.1%

## 農産加工品

2,744百万円 8.8%

## 酪農加工品

3,174百万円 10.2%

## 畜肉加工品

4,714百万円 15.1%

売上高と構成  
31,215百万円

## 水産加工品

18,052百万円 57.8%

## 水産加工品



おいしいさぎいか 技の逸品一夜干風焼あたりめ いかの西京焼 帆立貝柱燻製 チーズかまぼこ



鮭燻チップ 極辛やわらかいか天 茎わかめ梅味 おつまみ昆布

## 畜肉加工品



質沢粗挽きサラミ 匠の一品 おいしいサラミ OTSUMAMI牧場 ソフトスティックサラミ



芳醇ポークジャーキー 和風ビーフジャーキー おつまみベーコン

## チルド製品



チーズたら (プレーン) チーズたら (バジル&ガーリック味) あざりのバター 醤油味 いかげそ ピリ辛七味焼き

## 素材菓子製品



梅スッキリ種めき ねりうめ 干し赤ぶどう むぎ栗甘栗太郎

## 小物菓子製品



茎わかめ 濃厚ソースカツ のしたら旨辛キムチ

## スナック製品



チーズinフライ 超Light イカフライ いかフライ

# 財務の状況

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期	前期
	(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>11,122</b>	<b>10,830</b>
現金・預金	1,102	1,541
受取手形・売掛金	4,697	4,340
たな卸資産	4,778	4,320
繰延税金資産	170	203
その他	382	433
貸倒引当金	△9	△8
<b>固定資産</b>	<b>13,171</b>	<b>13,058</b>
有形固定資産	11,505	11,640
無形固定資産	122	132
投資その他の資産	1,542	1,284
<b>資産合計</b>	<b>24,294</b>	<b>23,888</b>

### POINT 1 資産合計

たな卸資産が前期比4億58百万円増加、減価償却により建物が前期比4億26百万円減少、投資有価証券が主に時価評価の影響により前期比2億77百万円増加いたしました。

### POINT 2 負債合計

長期・短期借入金が前期比4億00百万円増加、役員退職慰労引当金が前期比7億67百万円減少したことにより繰延税金負債が前期比4億11百万円増加いたしました。

### POINT 3 資本合計

アルパイン円貨建転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により資本金・資本剰余金がそれぞれ前期比1億8百万円増加、利益剰余金が前期比3億84百万円増加した結果、資本合計は130億27百万円となり株主資本比率は前期比2.2%増の53.6%となりました。

## 負債の部

負債の部	当期	前期
	(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>8,252</b>	<b>7,804</b>
支払手形・買掛金	2,854	2,569
短期借入金	3,796	2,978
1年以内に返済予定の長期借入金	193	417
未払法人税等	31	373
賞与引当金	298	298
その他	1,079	1,166
<b>固定負債</b>	<b>2,891</b>	<b>3,647</b>
新株予約権付社債	994	1,211
長期借入金	938	1,131
繰延税金負債	755	344
役員退職慰労引当金	141	908
その他	61	51
<b>負債合計</b>	<b>11,143</b>	<b>11,451</b>

### 少数株主持分

122 162

## 資本の部

資本の部	当期	前期
<b>資本合計</b>	<b>13,027</b>	<b>12,274</b>
資本金	1,478	1,369
資本剰余金	1,793	1,685
利益剰余金	9,560	9,175
その他有価証券評価差額金	198	45
自己株式	△2	△2
<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>24,294</b>	<b>23,888</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>31,215</b>	<b>30,805</b>
売上原価	21,238	20,673
売上総利益	9,977	10,131
販売費及び一般管理費	9,068	9,069
<b>営業利益</b>	<b>908</b>	<b>1,062</b>
営業外収益	125	106
営業外費用	71	84
<b>経常利益</b>	<b>963</b>	<b>1,084</b>
特別利益	81	563
特別損失	66	441
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>978</b>	<b>1,207</b>
法人税、住民税及び事業税	80	565
法人税等調整額	356	△32
少数株主利益	△0	4
<b>当期純利益</b>	<b>541</b>	<b>669</b>

## 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	1,685	1,550
資本剰余金増加高	108	134
資本剰余金減少高	—	—
資本剰余金期末残高	1,793	1,685
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	9,175	8,649
利益剰余金増加高	541	669
利益剰余金減少高	157	143
利益剰余金期末残高	9,560	9,175

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△351	2,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231	△363
財務活動によるキャッシュ・フロー	259	△1,965
現金及び現金同等物の増減額	△323	263
現金及び現金同等物期首残高	1,092	829
現金及び現金同等物期末残高	769	1,092

### POINT 4 売上高

水産加工品	・ソフトいか燻製、茎わかめ	堅調
	・「いか」の一次加工品	減少
畜肉加工品	・ジャーキー類	堅調
酪農加工品	・チーズ類	好調
農産加工品	・梅製品	堅調
	・素材菓子、栗	減少
惣菜製品ほか	・株式会社なとりデリカ 洋風惣菜	増収
	・その他の製品	微減

単体貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期	前期
	(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
流動資産	10,222	10,255
現金・預金	603	989
受取手形・売掛金	4,342	4,066
たな卸資産	4,478	4,037
繰延税金資産	114	148
その他の貸倒引当金	689	1,019
貸倒引当金	△6	△6
固定資産	10,537	10,114
有形固定資産	8,536	8,438
無形固定資産	118	127
投資その他の資産	1,882	1,547
資産合計	20,759	20,369

負債の部

流動負債	6,816	6,481
支払手形・買掛金	2,808	2,511
短期借入金	2,777	2,048
1年以内に返済予定の長期借入金	49	300
未払法人税等	8	346
賞与引当金	205	207
その他の	967	1,068
固定負債	1,904	2,517
新株予約権付社債	994	1,211
長期借入金	—	49
繰延税金負債	752	340
役員退職慰労引当金	139	907
その他の	17	10
負債合計	8,720	8,999

資本の部

資本合計	12,038	11,369
資本金	1,478	1,369
資本剰余金	1,793	1,685
利益剰余金	8,570	8,271
その他有価証券評価差額金	198	44
自己株式	△2	△2
負債・資本合計	20,759	20,369

単体損益計算書

(単位:百万円)

当 期	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	28,791	28,459
売上原価	20,369	19,785
売上総利益	8,422	8,673
販売費及び一般管理費	7,673	7,811
営業利益	749	862
営業外収益	176	187
営業外費用	75	82
経常利益	850	967
特別利益	40	558
特別損失	64	441
税引前当期純利益	826	1,084
法人税、住民税及び事業税	39	521
法人税等調整額	340	△34
当期純利益	445	597
前期繰越利益	163	157
中間配当額	69	67
当期末処分利益	539	687

利益処分

(単位:円)

当 期	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
当期末処分利益	539,037,013	687,374,975
任意積立金取崩額	—	—
固定資産圧縮積立金	8,618,224	8,618,226
固定資産特別償却準備金	5,624,435	4,311,363
任意積立金取崩額計	14,242,659	12,929,589
利益処分額	553,279,672	700,304,564
株主配当金	71,033,590	69,595,450
(1株につき5円)	(1株につき5円)	(1株につき5円)
取締役賞与金	7,700,000	7,700,000
別途積立金	300,000,000	460,000,000
(利益処分額合計)	(378,733,590)	(537,295,450)
次期繰越利益	174,546,082	163,009,114

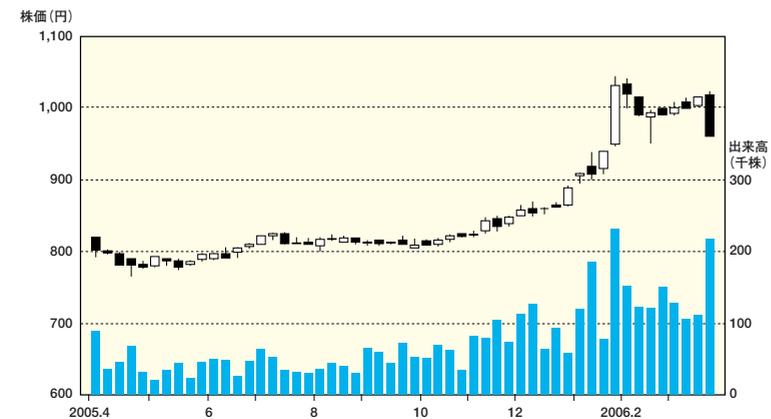
(注) 1. 平成17年12月5日に、69,594,750円(1株につき5円)中間配当を実施しております。  
 2. 固定資産圧縮積立金、固定資産特別償却準備金は租税特別措置法の規定に基づくものであり、取崩の金額は税効果会計適用後の金額を計上しております。  
 3. 株主配当金は、自己株式3,703株を除いて計算しております。

株式の状況 (平成18年3月31日現在)

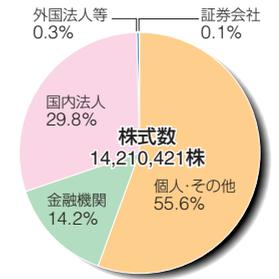
- 会社が発行する株式の総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 14,210,421株
- 株主数 20,424名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社名旺エステート	2,547,000	17.92
有限会社メイオウ	837,336	5.89
名取三郎	674,808	4.75
横山よし子	672,684	4.73
名取雄一郎	564,500	3.97
名取治	460,800	3.24
名取浪男	431,520	3.04
なとり取引先持株会	385,520	2.71
なとり社員持株会	347,860	2.45
相澤ふみ江	309,600	2.18

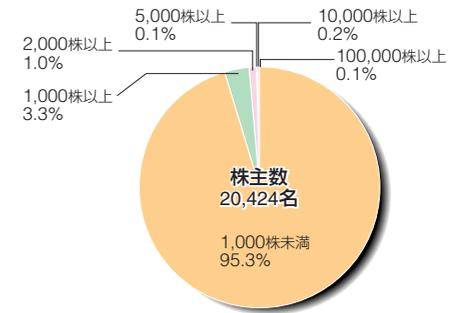
● 株価チャート (平成17年4月1日～平成18年3月末日)



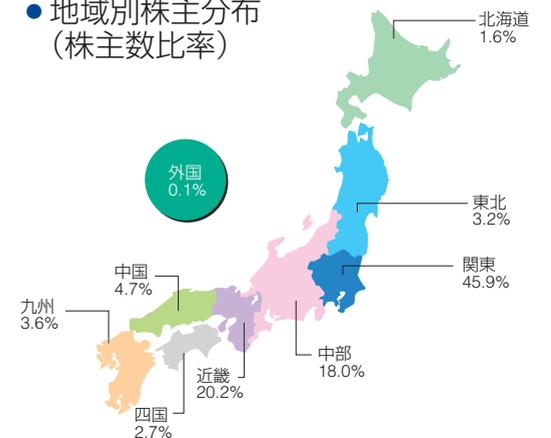
● 所有者別分布(株式数比率)



● 所有株式数別分布(株主数比率)



● 地域別株主分布(株主数比率)



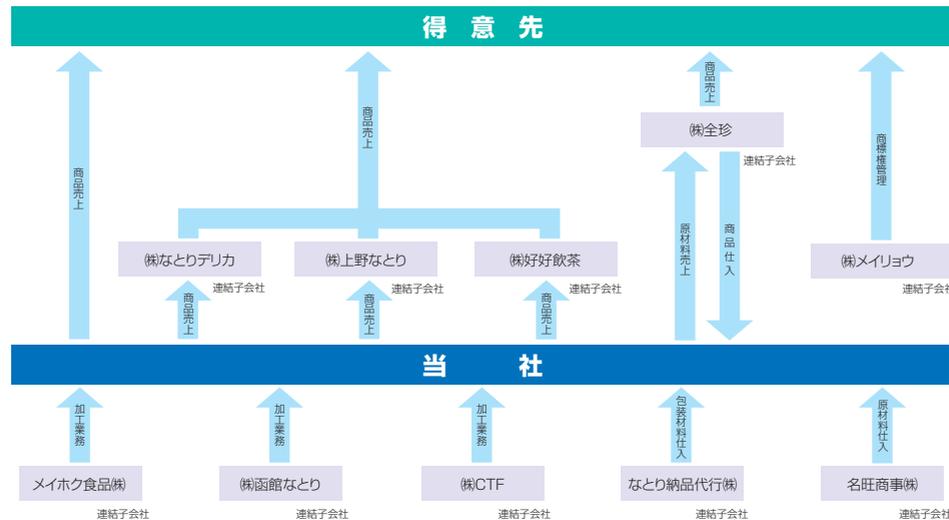
## 会社の概要 (平成18年3月31日現在)

会社名 株式会社なとり  
 本社 東京都北区王子5丁目5番1号  
 設立 昭和23年6月  
 資本金 1,478,125,250円  
 従業員数 544名 (男子370名、女子174名)  
 主要取引銀行 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、農林中央金庫、  
 商工組合中央金庫、三井住友銀行、りそな銀行

## 企業集団の状況 (平成18年6月29日現在)

当社の企業集団は、子会社10社を連結対象会社として構成され、水産加工品、畜肉加工品、酪農加工品、農産加工品、惣菜製品ほか、おつまみ全般にわたる製造販売を主な内容として事業活動を展開しております。

事業の系統図は次のとおりであります。



## 役員 (平成18年6月29日現在)

取締役会長	林 徹
代表取締役社長	名取 三郎
代表取締役副社長	名取雄一郎
取締役 上席執行役員	小嶋 利光
取締役 上席執行役員	北見 弘之
取締役 上席執行役員	出島 信臣
取締役 上席執行役員	小林 眞
取締役 (社外)	岡崎 正憲
取締役 (社外)	大藤 裕康
常勤監査役	打越 常夫
常勤監査役	塩谷 格
監査役 (社外)	割出 雄一
監査役 (社外)	三島 浩光
監査役 (社外)	中尾 誠男
上席執行役員	水野 政裕
執行役員	永井 邦佳
執行役員	山形 正
執行役員	名取 治
執行役員	鎌田 達夫
執行役員	西村 豊

## 生産・営業・物流拠点

(平成18年6月29日現在)

メイホク食品



全珍



埼玉工場





<http://www.natori.co.jp/>

## 株主優待のご案内

毎期末3月31日現在、当社株式を100株以上保有のすべての株主の皆様に対して、よりすぐりの商品を贈呈いたしております。

- 100株以上1,000株未満 2,000円相当
- 1,000株以上 3,000円相当

## 株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
配 当 金	3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。
中 間 配 当 金	中間配当をおこなう場合は、9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。
基 準 日	定時株主総会については3月31日その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公 告 の 方 法	平成17年6月29日開催の定時株主総会において電子公告制度の導入を決議いたしました。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告ホームページ <a href="http://www.natori.co.jp/koukoku/index.html">http://www.natori.co.jp/koukoku/index.html</a> 決算公告ホームページ <a href="http://www.natori.co.jp/kessan/index.html">http://www.natori.co.jp/kessan/index.html</a>
1 単 元 の 株 式 数	100株
株 主 名 簿 管 理 人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同 事 務 取 扱 所 ( お 問 い 合 わ せ 先 )	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120(78)2031
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社本店および全国各支店